

ベントグリーンを夏越しさせる9つのSTEP



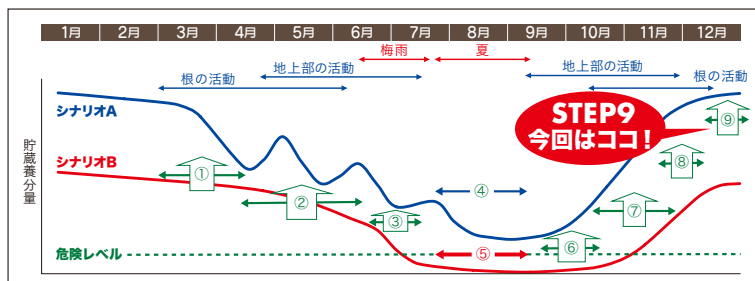
STEP9【冬】

「春を待つ」：ストレス耐性と葉色のアップ

霜も降りて、冬本番。地上部・地下部とも冬季の休眠に入った状態です

気象・芝・土壌の状態

- ・温度が低く、雨が少なく、蒸発散量も少ない
- ・葉は光合成もほとんど止まり、呼吸も最低限
- ・地上部・地下部共に伸長生長もストップ
- ・貯蔵養分量は年間ピーク（早春の動き出しまで）
- ・低温・乾燥ストレス、強光障害、アントシアン斑に注意



管理目標＝冬のストレスに耐えながら、春の芽出しに備える

しかし、寒くて芝が動かないこの時期、次のような問題を見逃しがちです。

- ・低温や乾燥など冬季のストレスで芝草が弱る。
- ・光合成や代謝が低温で落ちているので、肥料への反応が悪い。
- ・機械的損傷からの回復力も無い。強光障害が起こりうる。
- ・低温による葉の緑色の低下やアントシアン斑が生ずる。
- ・土壌有機物が蓄積して透水性が低下していたり、土壌撥水性が発生していることがあるが、雨が少なく蒸散量も少ないので気が付きにくい。これを放置すると、早春の発根などに悪影響する

冬季に有機物が蓄積して水の浮いたグリーン。これを放置すると大きなダメージにつながってしまう。



管理作業のポイント

見過ごされがちなダメージからベントグラスを守り、葉色など冬季のパッティングクオリティも確保しながら、翌春のスタートダッシュに備えることが、この時期のポイントになります。

【ポイント1】カリウムで低温ストレス・乾燥ストレス耐性・炭水化物代謝を上げる

- ・カリウム含有液肥の葉面散布で、気孔制御や炭水化物代謝を確保。
- ・炭水化物代謝を確保してフルクタンが高いほど、耐寒性・耐凍性も上がる。
- ・代謝のアップには、アミノ酸・ビタミン含有資材も併用。

【ポイント2】葉身中の鉄を確保する

- ・冬にベント葉身中の鉄が増えるのは、チトクロームなどによる強光障害回避に役立っているのではないかと考えられている。

【ポイント3】亜リン酸の大量投与でアントシアン生成を軽減する

- ・秋～冬の亜リン酸液肥でアントシアン生成が軽減、春の発根も改善されることが知られている。

【ポイント4】土壌のサッチや有機物を、低温型分解菌で分解する

- ・土壌微生物の多くは高温型なので、冬には有機物分解が落ちる。
- ・低温でも有機物分解能力の高い微生物を与え、有機物を減らす。

【ポイント5】透水不良やドライスポットへの対処

- ・低温期には気付にくいドライスポットを見つけ出し、浸透剤処理で対処する。
- ・土壌透水性や撥水性の簡単な調査で、問題を発見できる。

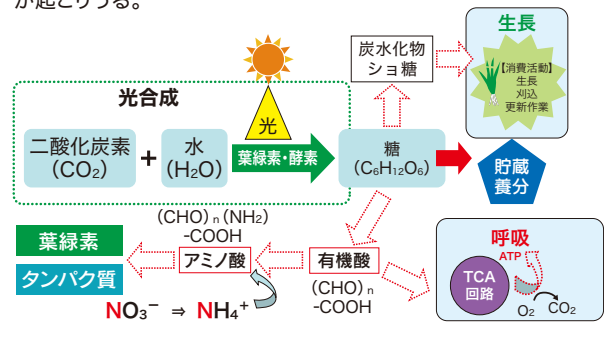
【葉身分析目標値】

- ・刈草を数面集めてでも葉身分析を継続し、フルクタンが十分に蓄積されていること、葉身中のP (0.4%～)・K (2.0%～)・Fe (0.05%～) が確保されていることを確認する。

※葉身分析と貯蔵養分フルクタンについてはSTEP 0【総説】をご参照

冬の低温による代謝の低下

光合成や炭水化物代謝に関わる酵素タンパクの活性が低温で下がり、反応が進まなくなる。余った光エネルギーによる強光障害が起こりうる。



この時期のおすすめ資材・機材

【高カリウム+亜リン酸配合液肥 TGフォスファイト】

0-30-20の高カリウム配合と亜リン酸で、冬のストレスと闘い、葉色を改善

【吸収能力の落ちた冬季の鉄の補給に ユニレイトFe】

吸収の良いキレート鉄で、耐寒性アップ・強光障害回避・葉色のアップ

【低温期の代謝を補助 Foltec The ZEN】

ビタミン類などの抗酸化物質とアミノ酸・鉄などが、冬の代謝をサポート

【低温型サッチ分解剤 分解くんCF-1】

通常の微生物の活性が落ちる低温期にも、サッチ・有機物を穏やかに分解

【強力な効き目が長続き 土壌浸透剤TILWA】

低温期の処理で土壌撥水性をしっかりと治療、春の発根に備えます

【土壌の透水性・撥水性をチェック 現場調査】

簡単な調査で、透水性の低下やドライスポットを確認



現場作業にやや余裕があるこの時期に、土壌透水性の低下や隠れドライスポットを発見し、本格的な春の生育シーズンの前に対処しておく。

高カリウム+亜リン酸液肥 TGフォスファイト

ストレス耐性を高めるカリウムと亜リン酸を使いやすく調合

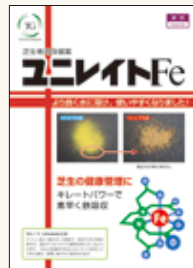
- 0-30-20の高カリウム配合
- リンの全量が、効果の高い亜リン酸
- 水溶性が高く、吸収が良い
- 根量の増大
- 緑色の改善・アントシアン抑制
- 使いやすいpH4~5
- 酸性・中性・アルカリ性の資材との混合が可能



吸収の良いキレート鉄を配合 ユニレイト Fe

信頼のロングセラー！ ストレス時のベントグラスにも安全

- 吸収しやすいキレート鉄 13.2%
- 根の活性低下による葉の黄化に
- 夏の高温による根の活性低下時
- 冬の低温による根の活性低下時
- 梅雨の土壌酸欠による根の活性低下時



低温型サッチ分解菌がサッチ・有機物を穏やかに分解 分解くん CF-1

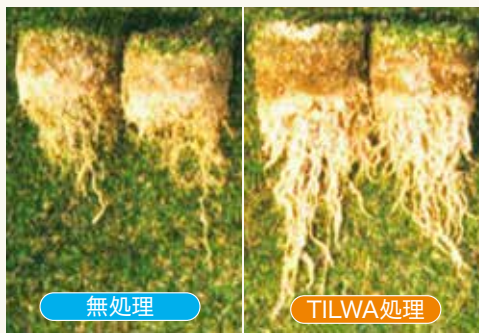
グリーン専用サッチ分解剤

- 低温活性菌 *Talaromyces amestolkiae* CF-1 (最適 10°C・増殖可能 5~30°C) を超高密度配合
- 菌が土壌へ定着し、低温期にサッチや有機物を穏やかにしっかりと分解
- 高温時の爆発的分解による軟弱化の恐れがありません
- 芝生育期の急激な窒素放出が無く、グリーンの葉が暴れません
- リン酸溶解能で、土壌に固定されたリン酸を可給化します



強力な効き目が長続き 土壌浸透剤 TILWA

冬の処理で土壌撥水性をしっかりと治療、春の発根に備えます。



◀写真

TILWA 2.5cc/m²
12月~3月・月2回
処理での春の状況
左=無処理
右=TILWA処理

▶STEP1へ進む

※葉身分析目標値：過去の分析結果から弊社が独自に設定した、時期毎の暫定目標値です。随時改訂しています。

東洋グリーンはベントグリーンの夏越しを応援します。



東洋グリーン株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
TEL.03-3249-7731(代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>